

平成28年7月18日

二段受検

“空手で役立ったこと”

西東京本部 浜田山支部
畠山 由香

この度は、二段受検のチャンスを下さいましてありがとうございます。

“空手で役立ったこと”を思い巡らせたとき、まず頭に思い浮かんだのは
“自分の世界が広がった”ということでした。

琉球空手を学ぶという1つの目標に向かって多くの人が集まり、色々な考えが
集まる事で自分の世界観も変化したと思います。

技を指導させて頂く際にも、自分の考えに固執する事も少なくなりました。

次に“自分の中に向上心が芽生えた”ことです。

学生時代からの自分を振り返ると、内向的で何かに打ち込む訳でもなく過ごし
てきたように思います。

しかし月心会に入会してからは、次から次へと覚えなければならない技、そし
て黒帯になってからは古武道も習い始め、何事にもチャレンジするという気持
ちになれました。

それは息子達と触れ合う際にも「まずはチャレンジしてみよう！」と口にする
程です。

一歩踏み出すことが、自分を切り拓くものだと思わせてくれました。

空手は生活に直接的に役立つ場面に出会う機会はなかなかありませんが、自分
の生き方に大きな変化を与え、また良い意味で張りのあるものにしてしてくれて
いるものとして捉えています。

これからも多くのことを学びたいと考えておりますので、ご指導のほど宜しく
お願い申し上げます。